

# ECO経木モバイル工作キットの開発

## —経木の特徴を活かした新製品開発—

実用新案第3149562号

江戸時代から木具職人により作られていた折箱材料の経木を使った新しい木工教材の開発商品化を経木メーカーと共同で行ないました。

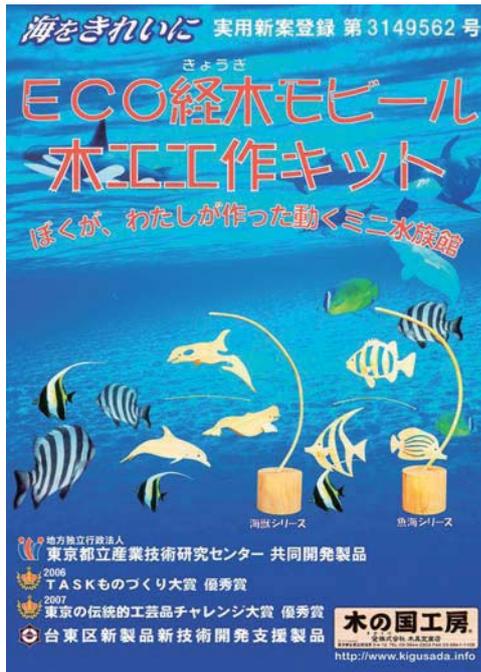


図1 製品パンフレット

### 開発の背景

経木材はエゾ松の間伐材や建築材等に製材した時の端材、熟齡木等を使用した薄板材で、通気性や抗菌性に優れているため食品包装材に適しています。また、使用後は堆肥としてバイオマス利用もできるため、計画的に植林すれば、ペットボトルや紙のように再生利用することなく、完全自然循環型の材料と言えます。

しかしながら、箱や包装に素材をそのままで使用しているため、森林破壊のイメージがあり、年々受注が減少しています。このため経木を使った新しい木工教材の開発商品化を経木メーカーと共同で行ないました。

### 開発の製品コンセプト

#### ECOな素材にはECOなデザインテーマ

開発商品は経木材の自然循環をアピールする

ため、きれいな海をイメージした魚類・海獣類をデザインアイテムとし、ECO（地球環境保護）をテーマとした商品展開を図りました。

### 経木の特徴を活かす実案のデザインポイント

経木の曲げる・切る・削る等の加工のしやすさを活かし各アイテムに特徴的な動きや表情が出るように工夫しました。

(1)魚の模様に合わせて切り抜き加工(図2)。魚体の特徴的な模様に合わせて切り抜き、風の通り抜ける方向により個々に異なった動きをします。

(2)スペーサーを挟み込んだ立体構造(図3)。二枚の切抜き型を併せて中央部にスペーサーを挟み込み、曲面で包む立体的な形状にしました。これによりアイテムにボリューム感がでて、風により常に動き回っても全方位で鑑賞できます。

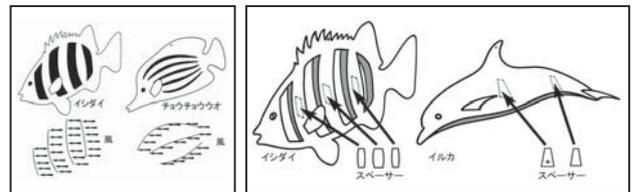


図2 切り抜き

図3 スペーサー

### デザインの商品化

魚類・海獣類のデザインより経木板用の抜型を作製し量産化・商品化を行いました。台座のあるスタンドタイプと吊り下げタイプのモバイルの2種類4商品が販売されています(図4)。



スタンドタイプ製品と吊り下げタイプ製品

図4 販売用工作キット

事業化支援部 <城東支所>

秋山 正 TEL 03-5680-4632

E-mail : akiyama.tadashi@iri-tokyo.jp